

## ぬくもり

2025年12月2日(火)  
7年学年主任責任編集発行

## あいがとう

先日、「かけがえのないいのち」の学習をして、「ありがとう」を伝えようという話がありました。前回の学年集会と学年だよりでは「名前の由来」についてお伝えしました。そこで今回は、「ありがとう」について、一緒に考えていきたいと思います。みんなは「ありがとう」という漢字を書けますか？ありがとうは、漢字で「有り難い」という字がくずれて、「有り難う」となったそうです。言い換えれば、「有り難い」とは、「難が有る」ということです。この言葉が、感謝を伝える言葉として使われていることは、少し不思議に思いますね。しかし、思えば、人生は「難」だらけ。苦難、困難、災難など、できるだけ、人生、「難」なく進んでいきたいですよね（ちなみに「難」が「無い」ことを、「無難」といいます）。でも、なかなかそんなわけにはいきません。みんなの人生も、これまで小さな「難」から大きな「難」までいろいろあったと思います。そんな「難」を乗り越えてきたみんなも、今まさに「難」の真っ只中にいるみんなもこれから乗り越えていくことで、大きく成長してくれることだと思います。「難」を乗り越える時には、もちろんその人の頑張りがあってのことだと思いますが、必ず誰かのサポートがあります。人は、人のサポートなしに生きていくことはできません。そうやって助けてもらった時に、人は「有り難う」と伝えるんですね。

また、「ありがとう」という言葉は、この世界にいるありとあらゆる生物の中で、人間に生まれたということは喜ばしいことで奇跡に近い、「有ることが難しい」＝「有り難い」ということが由来だそうです。前にもお伝えしましたが、周りにある当たり前は当たり前ではない。「有り難い」ことなんです。その有り難さに日々感謝して、残り少ない2学期をみんなで過ごしていきましょう。

